

「ワンヘルスフェスタ2023 in 福岡」が開催されました !!

令和5年11月12日（日）、福岡市にある舞鶴公園・三の丸広場において「ワンヘルスフェスタ2023 in 福岡」が開催されました。

「ワンヘルス」とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉えて一体的に守っていくという考え方です。

開会記念式典では、服部誠太郎福岡県知事による主催者挨拶が行われ、続いて、来賓として、藏内勇夫アジア獣医師会連合（FAVA）会長、香原勝司福岡県議会議長等の挨拶が行われました。

その後、テープカットが行われました。



服部知事



藏内会長



香原議長



藤田福岡市

香原議長 服部知事 藏内会長

野原獣医師会副会長

保健医療局長 秋田県議会ワンヘルス特別委員長

蓮澤医師会会長

【服部誠太郎福岡県知事：主催者挨拶】

福岡市では初めての開催となる、ワンヘルスフェスタですが、この開催にあたり、ご尽力を賜りました皆様方に、心より感謝を申し上げます。

我々は、この新型コロナウイルス感染症も3年以上、長きにわたり苦しめられてまいりました。この新型コロナも動物由来のものですが、私たちが悩まされている感染症の6割は動物由来の人獣共通感染症であると言われています。

人の健康、そして動物の健康、またこの地球環境の健全性、この三つを一つのものとして、「ワンヘルス」として守っていこうというものです。このワンヘルスは、次なるパンデミックへの備えとしても重要なものであると考えられています。

私たちが日常生活の中で、何をすればワンヘルスになるの、たとえば、感染症を考えた時に、しっかり石鹸、流水で手を洗う。そして、咳が出るときはエチケットなども気を付けることが、人獣共通感染症を含むところの感染症の予防になるわけです。

そして、ワンちゃんの散歩とか、あるいは森林浴、適度に体を動かす、運動をし、お腹が減ったら、栄養バランスのいい食事をとる。そして、お風呂で体を温めてぐっすり眠ることが大事です。

そしてもう一つは、大いに笑うということです。「笑う門には福来たる」。やはりストレスを解消する意味でも、笑うということは非常に重要であると言われています。

このようなことをやるのが、ワンヘルスの実践になるわけです。

今日も、フォレストアドベンチャーなど、大いに体を動かしていただきたいと思えますし、また、動物との触れ合いで笑顔になっていただきたい。今日の「ワンヘルフェスタ in 福岡」、是非大いに楽しんでいただきたいと思えます。

(一部抜粋)



【藏内勇夫アジア獣医師会連合会長：来賓挨拶】

このかけがえのない地球に我々は生きることができています。今、この地球はおかしくなっています。それは、人間が地球環境を壊しているからです。

しかし、我々は地球環境を守っていかないといけないということが、ワンヘルスの運動の原点であります。今、温暖化とかパンデミックとか、大変な問題が発生しています。豪雨が降ったり、いろんな病気が蔓延したりしています。これは地球の悲鳴なのです。地球が、「そろそろ人間はわかってくれよ」と悲鳴をあげているのです。

ですから、我々は、この福岡県から、「この地球を守る、未来の子供たちの命を大切にする、環境を作る」という運動を始めました。

福岡県議会が、日本で初めて「ワンヘルス推進基本条例」を作ってくれました。これを服部知事はじめ、執行部がしっかりと受け止めて政策を確立してくれました。

先週まで、マレーシアのアジア獣医師会連合（FAVA）の大会に行ってきました。

「どうして日本はそんなにワンヘルスが進んでいますか。」と、みんな感心しています。「なぜ日本、福岡はそんなにできるのですか。」と、世界中の方が、今、この福岡県に関心を持ってきています。

しかし、まだまだこの福岡県でもワンヘルスのことを皆さん方に知ってもらわないといけません。そして、この「福岡から日本あるいは世界」にワンヘルスを広げていていただきたいと思います。

先週（11月7日）、国会で「自由民主党ワンヘルス推進議員連盟」が設立されました。前外務大臣の林芳正先生が会長を務められることになりました。今年開かれた広島でのG7でもワンヘルスが論議され、明記されました。

それほど世界中が今この「ワンヘルス」に関心を持っています。「ワンヘルス」を、この福岡から発信できるということは素晴らしいことだと思います。

今回の COVID-19 は、人と動物の共通感染症です。動物から人間に病気がうつります。人間からまた動物にうつります。ですから、「人も動物も地球環境も一つの命である」と、それを同時に守らないといけません。

ぜひ皆さんと一緒にこの「ワンヘルス」というものを、地球のために、未来の子供たちのために広げていきたいと思っています。

（一部抜粋）



藏内会長と福岡舞鶴高校の2年生二人とのワンヘルストークショー

【香原勝司福岡県議会議長：来賓挨拶】

今日のワンヘルスフェスタ、福岡市で最初の開催ということで、大変私も嬉しく思っています。

我々、福岡県議会は、「ワンヘルス推進基本条例」を作って推進をしていますが、「ワンヘルス＝犬の健康」から始まった私たちです。藏内会長のご教授のもと、このワンヘルスを「福岡から世界へ」と発信していこうと、医師会、獣医師会と一緒にやってやっています。

この「ワンヘルス」は、自分が健康であるために、やはり動物も地球も健康じゃないといけないと思います。やはり、「地球は借りているもの、次の世代に返さなくてはならないもの、だからやはり地球を健全なものにして戻す必要がある。」それがワンヘルスだという教えを藏内会長から伺って、「なるほどそういうことか」と思いました。

我々は、経済活動とともにいろんなものを犠牲にしてきました。だからこそ、ワンヘルスという原点に戻って、これから、私たちは次の世代に健全な環境に優しい地球をもう1度取り戻す運動を広げていかななくてはならないと思っています。

「福岡から世界へ」とやっていけるこの活動に賛同し、そして1人でも多くの皆さんに理解をしていただきたいと思います。

今日は、「ワンヘルス認証」が付いた食材もたくさんあると聞いておりますし、乗馬体験もあるということです。体全体でこのワンヘルスを体感いただいて、素晴らしいワンヘルスフェスタになること、そして子供たちに、そして中学生、高校生たちにこの「ワンヘルスの教育」というものがしっかりとこれからも福岡県で行われていくことを心から願っています。

(一部抜粋)

2023年11月15日

福岡ワンヘルス協議会・事務局